

鍋割山バリルート周回

山行日：2020.12.13 会山行7名参加

天候：晴れ 記：t h

コース：寄大橋/8:20-釜場平/10:00-コシバ沢/10:15-鍋割峠取付/11:00-茅ノ木
棚沢頭/11:36-鍋割峠/11:50-鍋割山/12:30~13:00-後沢乗越/14:00-
林道/15:10-寄バス停/16:00

寄大橋からの雨山峠への林道は歩行者、登山者の立入禁止、自己責任で入ります。ここが崩落していた

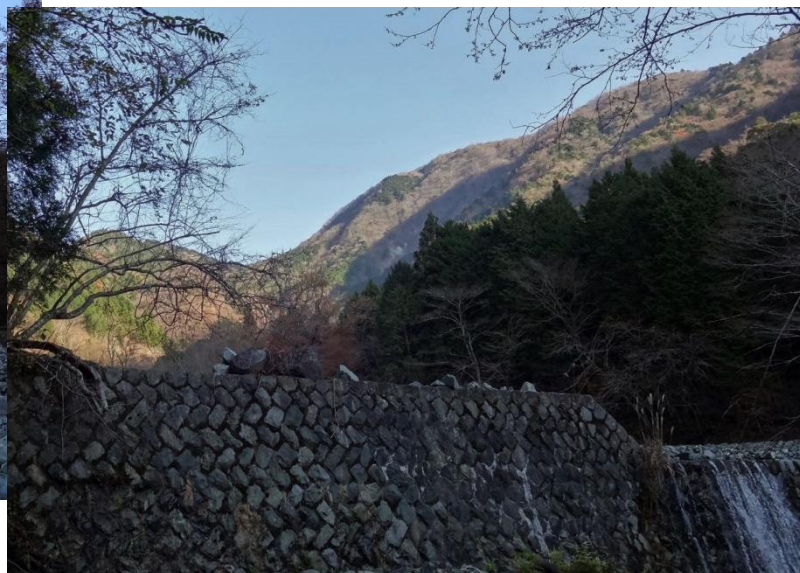


林道終点これより先、道迷い事故多発及びクマ出没表示。丹沢ではツキノワグマは50頭前後しかいないが



これより寄沢の渡渉を何回も繰り返して行く、水量が多いと苦勞するエリア

正面に鍋割峠が見えている



渡渉しながら



沢筋が訪れるたびに崩壊が進んでいる



沢を右に左に、最後尾の若者が追い越して鍋割峠へ行ったようだが我々が峠に着いた時には、彼は鍋割山から降りて来て雨山峠へ向かって行ったのだった。



釜場平を通過して



いよいよコシバ沢の遡行開始



昨年の台風で倒木や岩石も多くあり、沢が荒れていたために鍋割峠への尾根取り付き点のマークが見つからずうっかり岩石が沢山ある右の沢を登って行ったがマークも全くなり、左下の沢へ引き返すことに



左右の沢分岐に引き返すが、下山後調査したら右の沢を直進するとこの大崩落個所に出してしまうところだった



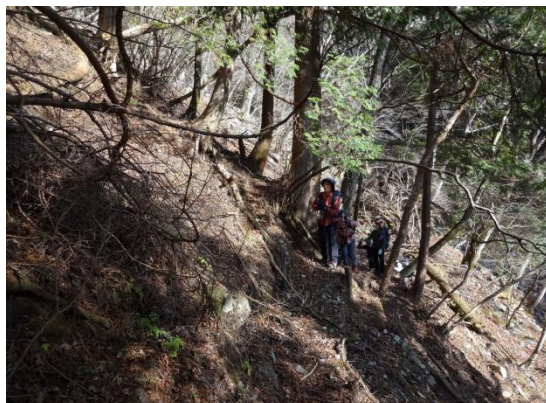
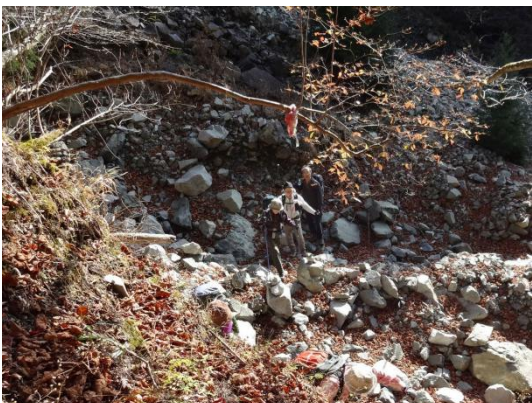
左側にマークが全く見られず良く目を凝らして探すと



細い木に赤テープが見つかり、人安心したがロスタイム 20分発生する



不安そうにリーダーを見上げている、右方向へ登って行くが崩れた斜面に踏み跡が見つからずストップ



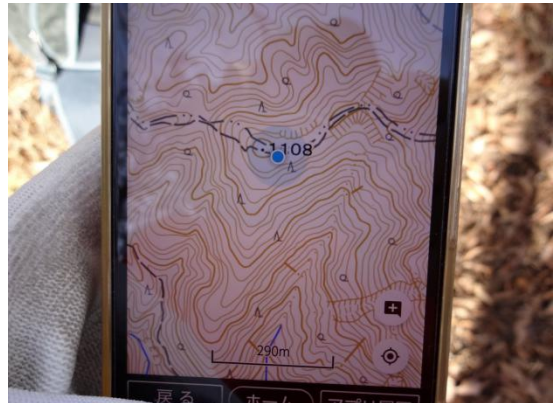
YAMAP では右方向だが？ルートの方に確信持てず、やむなく左への仕事道に行くことにした



安全でジグザグな仕事道で高度を上げて行く



1108m ピークに向かって進んでいる



1108m 茅ノ木棚沢ノ頭に出た



目の前には丹沢主稜、核心部の檜洞丸～臼ヶ岳～丹沢山が見えていた



遠回りになってしまったからこそ、このロケーションが堪能できたのだと思う。5分降って鍋割峠に着く
コシバ沢から鍋割峠間の標準タイムは60分、今回95分要しているが取付ミス20分と鍋割峠まで5分の計25分ロスタイム。実質70分で到達している
10分の
時間超過





檜洞丸 大室山 白ヶ岳 蛭ヶ岳



白ヶ岳 丹沢の盟主・蛭ヶ岳

鍋割山山頂直下の胸突き八丁の登り



登りきると大ロケーションが待っている



富士山を見ながらランチタイム



山頂広場には砂利が敷き詰められて快適さが倍増していた



鍋割山荘で鍋焼きうどんも二人がゲット



山頂でゆっくりと休んだら後沢乗越へ向かう。



鍋割山荘へ大量の水タンクをボッカしていた若者がいた



後沢乗越着、ここから後沢左岸尾根を降って行く



最初は緊張感満杯の急な斜面を慎重に



植林帯に入り快適な仕事道をジグザグに



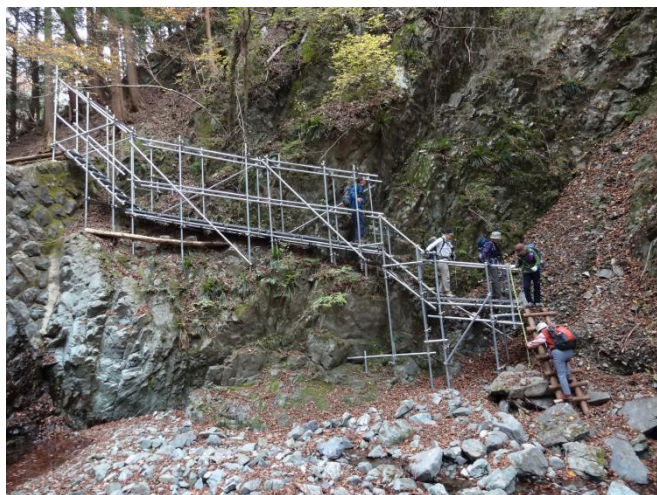
沢に降り立ち



本日より緊張を強いられた斜めに傾いた木道を降りると3段の木道通路がパイプ階段に立て替えられていた



まだ紅葉が残っていた ここもパイプ階段に



ジャングルジムのような鉄パイプで作られた仕事道？散策路？



ここで後沢右岸尾根が降りてきており合流する



寄バス停へ、今日歩いてきた尾根を振り返り見る

無事にモノレール小屋脇の林道に降り立つ

